

【答弁】 外国人講師は9人の配置となり中学校への派遣が主となりますが、小学校における外国語活動に支障のないように予定を調整しているところです。

【質問】 これまでの公民館事業を今後総合支所と地区センターと二段構えで事業運営されるのか、公民館経費の削減に伴って事業が危ぶまれるのではないかとと思うが対応を伺います。

【答弁】 今ある公民館事業については継続する方向で考えるが、事業そのものを一旦見直し、地区センター中心事業と総合支所中心事業に整理をかけていきます。

【質問】 今回の大震災における沿岸の子供たちへの支援について教育委員会では考えているのか伺います。

【答弁】 県と打ち合わせをし、ボランティアを募りながらできる限りの支援をしています。

【質問】 統合前沢小の通学路の安全確保について伺います。

【回答】 スクールゾーン、スクールバス検討委員会で検討していますが、ルート等について具体的ななっていないので、急がなければならぬと考えています。

【質問】 保健関係施設の耐震診断を計画的に実施されているか伺います。

【答弁】 水沢保健センターについて

は、新しい耐震基準以後の建物なので耐震診断は必要ないと考えますが、江刺の保健センターについては早急に検討して参ります。

【質問】 かぎっ子対策として小学校3年生以上に対してどのような方向で考えているのか伺います。

【答弁】 予算の関係や地域のボランティアの方々の協力が必要ということもあり、教育委員会や地域と調整を図りながら、必要な地区については、23年度から相談窓口をひとつにして対応していく考えです。

【質問】 奥州市においてボランティアの組織はどうなっているのか、また今回の震災に対してどのような活動がされているのかについて伺います。

【答弁】 奥州市社会福祉協議会にはボランティアセンターが設けられており、通常はボランティア団体の調整等を行っています。市の社会福祉協議会では今回の震災に対するボランティアの募集をしているとの事です。県並びに県社会福祉協議会と調整をしながら今後被災地に対してボランティア活動をしていくものと思っております。

【質問】 義援金の活用について、岩手・宮城内陸地震の際の義援金がまだ1億3千万近く残っている実態があります。被災者に交付する

というのが原則と考えますが、なぜこういうことが起きるのか、今後どのように処理しようとしているのか伺います。

【答弁】 義援金の活用については、市に直接いただいたものは800万ほどの残金しかありませんが、県経由で回ってきたものは、すべて県の指示により活用される仕組みとなっております。今後県の規制を撤廃し、市独自の判断で活用できるよう県に働きかけていきたいと思っております。

【質問】 このたびの震災により、病院及び薬局において、薬が不足しているものはないかについて伺います。

【答弁】 現在薬は問屋にはあるものの、物流の問題で手に入りづらくなっています。通常は2、3カ月分を出していたものを、2週間分では我慢していただいています。一方、生産現場も長期にわたる問題があり、物流が回復したからといって直ちに回復するとも限らないのが現在の状況です。

産業経済部門

【質問】 大震災による被害で、沿岸地域の事業所や奥州市内の事業所で代金の回収などに影響が出て来ています。事業所の被災、物流のストップなどで事業ができず事態

は深刻です。被災事業者に対する融資制度や不渡り手形への対応など金融について特別な配慮が必要と考えますが、市の対応について伺います。

【答弁】 市内の金融機関などから様々な実態を調査し、どのような方策がとれるか、できることを速やかに対応したいと考えます。緊急の事態と認識しています。

【質問】 ガソリンスタンドでの長蛇の列に対する改善策は講じられないか、伺います。

【答弁】 石油商業協同組合や警察などと相談したいと考えています。混乱がひどくならないように方向性を示し、対処を求める考えです。

【質問】 毎年、各区で行われているお祭りは例年通り実施の予定かどうか、大変な状況にあるが、実施しないと元氣が出ないといったジレンマがあります。見解を伺います。

【答弁】 各実行委員会など関係者から聞き取りをしています。難しい状況という認識をしています。主催者の意向が第一と考えます。

【質問】 地震による農地被害について、掌握もれなどないようにしていただきたい。またその中で昔に垂炭の坑道だった箇所もあるかどうか。水を張ったときに崩れるの